一般社団法人　和歌山県臨床検査技師会　会報

WAMT
bulletin

2020年度版　Vol.75

【目次】

●コロナ禍の一年を振り返って　　ー和歌山臨床検査技師会　会長　田中　規仁ー

●2020年度　和臨技　新人紹介

●和臨技　学術部紹介

●和臨技表彰

学術奨励賞：和歌山労災病院　楠木　結香技師

新　人　賞：紀南病院　　木村　有莉菜技師

●令和2年度 保健衛生医事功労者知事感謝状を拝受して

ー和歌山労災病院　田中　規仁技師ー

●令和2年度　和歌山県医療従事功労者賞受賞

ー新宮市立医療センター　田原　靖子技師ー

●日本臨床検査技師連盟　和歌山県支部からのお知らせ

●【特集】各施設のCOVID-19感染予防対策

●臨床検査技師に対するタスクシフティング業務啓発事業について

●編集後記

コロナ禍の一年を振り返って

令和2年度の会報が発行されましたので、ひとことご挨拶を申し上げます。

ご承知のように今年度はSARS-CoV-2による感染症が世界中で猛威をふるい、日本も例外ではありませんでした。そんな中、当会としては7月に令和2年度の事業計画を見直し、感染予防の観点から対面を伴う活動の全てを中止するに至りました。あらためまして会員の皆様に対して多大なご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

しかしながら、規模縮小となったものの精度管理事業や、会報ならびに会誌「和臨技」の発行など、できる事業は各種担当委員会のご尽力により執行することが叶いました。改めまして関係各位にお礼を申し上げます。

また、和歌山県や公益社団法人和歌山県病院協会との連携も行い、当会理事が医療従事功労者として表彰されました。

さて、ウィズコロナとして迎えるであろう令和3年度の技師会活動にも目を向けなくてはなりません。Web環境を用いた研修会や講習会の開催準備も着々と進んでおります。また、医師の働き方改革を進めるためのタスク・シフティング／シェアリングによる業務および行為の移管を目的とした指定講習会も開始されようとしております。

さらに、「検査と健康展」などの公益活動や精度管理事業、他団体との渉外活動など例年通りの規模にて事業が行えるよう準備しているところであります。あわせて当会設立70周年を迎える節目の年でもあり、記念式典の準備も行っております。これら事業を進めていくためには、会員および賛助会員の皆様のご理解とご協力が必要不可欠ですので、今後とご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

和歌山臨床検査技師会 会長　田中　規仁

和歌山臨床検査技師会　新人紹介

2020

①施設名　氏名　②現在担当している業務　③入職前と後の職場及び技師会の印象は
④やりがいやモチベーション　⑤今後目指している事　⑥休日の過ごし方　⑦自己PR

1.ひだか病院
田中 宏育

2.生理検査

3.入職前は不安でいっぱいでしたが、入職後は優しい上司や先輩に囲まれて、自分が成長できる場所だと思っております。

4.臨床検査業務に携われていることにやりがいを感じております。

5.認定超音波検査士
（循環器領域）の取得を目指しています。

6.休日は趣味のソフトテニスをして過ごしています。

7.明るく元気をモットーに頑張ります。
よろしくお願いします。

1.紀南病院
上田　樹

2.生理検査

3.入職前に2回見学に来ましたが、印象の変化は特にありません。知識が豊富で優しい先輩が多いので、わからないことがあるときに質問しやすく、とても助かっています。
　感染症の影響で技師会の活動についてはあまりわかりませんでしたが、収束して活動が戻ってきたら、積極的に参加したいです。

4.生理検査室は患者さんと実際に対面して検査を行うので、検査と患者さんの繋がりが実感できます。また、「ありがとう」という言葉を直接言ってもらえるので、やりがいがあると思います。

5.今年度から細菌検査室に移動する予定なので、まずは日常検査を身に付けることが目標です。その後の将来としては、学会発表をして、認定資格をとって積極的に活動する検査技師になりたいと思っています。

6.外出自粛の影響もありますが、読書やゲームなどをして一人で過ごすことが多いです。また、入職してから体を動かす機会がほとんどなくなり、運動不足を実感しているので、最近筋トレを始めました。

7.1年間生理検査を担当し、その後で細菌検査に移るという、少し変わったスタートでした。実際に患者さんとコミュニケーションをとって検査した経験が、今後活きる場面もあると思います。担当部門が変わっても、この1年の経験を大切にして、頑張ります。

和歌山臨床検査技師会　新人紹介

2020

①施設名　氏名　②現在担当している業務　③入職前と後の職場及び技師会の印象は
④やりがいやモチベーション　⑤今後目指している事　⑥休日の過ごし方　⑦自己PR

1.和歌山労災病院
糸川 夏帆

2.病理検査、細胞診検査

3.学生時代に恩師が、とてものどかで職員同士の仲がいい病院があると紹介くださり、父の実家が和歌山にあることも加えて魅力を感じました。病院見学させていただくと、想像以上にとてもよい雰囲気であると感じました。実際に働きだしてからは、右も左もわからない私に、丁寧にやさしく教えていただき、この病院で働くことができてよかったと強く思います。和歌山臨床検査技師会について、入職前は全く知らなかったです。入職してからも、交流がありませんでしたので、これからもっと知っていきたいと思います。

4.仕事をしていく中で新しい発見や知識を得ることです。

5.まだまだ分からないことや覚えなければならないことが数多くあり、先輩方に迷惑をかけてしまいますが、しっかり勉強して知識や技術を身につけるように精一杯努力します。そして、早くみなさんの役に立てるようにしていきたいです。

6.休日は掃除をしたり買い物に行ったりしています。趣味は音楽を聴くことです。

7.幼稚園の頃からずっと、周りの人から「いつもニコニコ笑っているね」と、言われてきました。だから、どんなにしんどいことや、つらいことがあっても笑い続けます。

1.新宮市立医療センター
藤谷　侑生

2.血液検査・生理検査

3.入職前の職場の印象は上司の皆さんがとても優しかったです。
入職後の職場の印象は一つ一つ丁寧に指導して頂きすごくいい環境だと思います。技師会の印象は仕事のいろいろな情報を共有できる。

4.休日を楽しみにして日々仕事に励んでいます。

5.緊急検査技師の認定資格を取得することです。

6.休日はフットサル、野球をやっています。

7.自分はおとなしい方だと思うので皆さん普通に話しかけてもらうとすごくありがたいです。
体を動かすことがすごく好きなので休日にスポーツすることがあればぜひ誘ってください。

和歌山臨床検査技師会　新人紹介

2020

①施設名　氏名　②現在担当している業務　③入職前と後の職場及び技師会の印象は
④やりがいやモチベーション　⑤今後目指している事　⑥休日の過ごし方　⑦自己PR

1.**日本赤十字社和歌山医療センター**
榎本　奈央

2.一般検査

3.働く以前は、大学の先輩方が現場で活躍されているのを見て、自分も同じように働くことができるのかという不安がありましたが、わからないことや質問にも丁寧に教えて下さり、気さくに話しかけてくれるので楽しく働くことができています。

4.新しいことを教えてもらい覚えていくにつれて、ルーチンを少しずつ回せるようになってきたこと。また特に鏡検では、県内でも大きな病院なので、普段はあまり見られないような症例を多く知ることができるので、とても勉強になっています。

5.資格を取得して、仕事に生かしたいです。

6.カラオケ、映画鑑賞

7.今はコロナ禍で特に活動ができていませんが、いろんな勉強会や新しいことにも挑戦していきたいです。

1.**日本赤十字社和歌山医療センター**
山崎　一馬

2.生理検査

3.大きな病院なので、入職前はピリッとした雰囲気だと思いましたが、入職後はアットホームな雰囲気で、とても働きやすい環境だと思いました。

4.患者さんに顔を覚えてもらって声をかけていただく事や、「また検査よろしくね」って言っていただけたりする時に、とてもやりがいを感じます。

5.3年目までには資格を１つ取りたいと思っています。

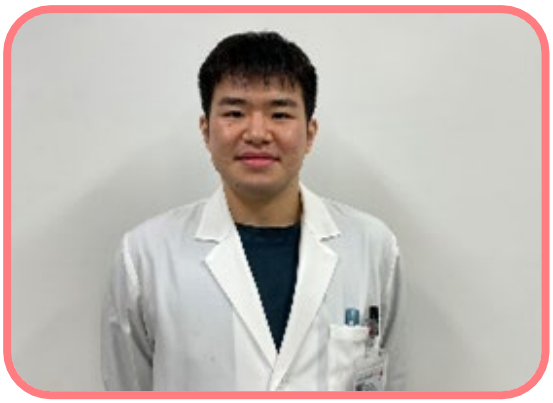
6.趣味はドライブです。景色の良いところに行って、仕事の疲れを癒したりしています。

7.持ち前のコミュニケーション能力で、色んな方とすぐに仲良くなれます。コロナが落ち着いたら、沢山の方と交流を深めていきたいと思います。

和歌山臨床検査技師会　新人紹介

2020

①施設名　氏名　②現在担当している業務　③入職前と後の職場及び技師会の印象は
④やりがいやモチベーション　⑤今後目指している事　⑥休日の過ごし方　⑦自己PR



1.日本赤十字社和歌山医療センター
宮西　克弥

2.生化学・血清検査

3.入職時は馴染めるか不安でしたが、やさしく一から教えていただいたので、不安はすぐになくなりました。ISOのために覚えることが多いですが、日々充実しています。
新型コロナウイルスの影響で技師会の事業が中止になり、参加できず残念です。

4.1年間やってきた中で任せていた　だけることが増えてきたことがモチベーションになっています。

5.認定資格の取得を目指し、勉強したいと思います。

6.漫画を読むことや、プロ野球観戦が趣味です。小さいころから巨人ファンですが、今年は特に田中将大投手の日本復帰のニュースを聞いて、開幕がいつも以上に待ち遠しいです。

7.今年度はルーチン業務だけでなく新型コロナウイルスの影響で覚えなければならない業務がたくさんあり、ついていくのに必死でした。来年度は仕事でもプライベートでもなにか新しいことに挑戦してみたいです。

1.日本赤十字社和歌山医療センター
芝山　晃栄

2.生理検査

3.入職前は、配属先の業務内容に加えISO業務など不安なことばかりでしたが、今は上司の方々から丁寧なご指導頂き、とても働きやすい環境だと感じております。

4.生理検査室では、患者様の顔をみて検査できるので、検査後に感謝の言葉を頂いたときやりがいを感じます。

5.勉強中の脳波検査を習得することに加え、エコー検査に携われるようになりたいです。

6.趣味は、旅行です。国内外問わず色んな場所を訪れることでリフレッシュしています。
今は外出出来ないので、家で映画鑑賞を楽しんでいます。

7.私のモットーは、失敗しても諦めないことです。自分に負けずにこれからもいろんなことに挑戦していきたいです。

和歌山臨床検査技師会　新人紹介

2020

①施設名　氏名　②現在担当している業務　③入職前と後の職場及び技師会の印象は
④やりがいやモチベーション　⑤今後目指している事　⑥休日の過ごし方　⑦自己PR

1.日本赤十字社和歌山医療センター
田中　彩花

2.病理検査

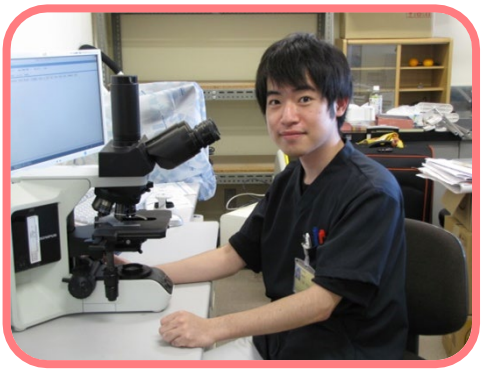
3.入職前は業務など不安なことが多くありましたが、どんなことでも丁寧に教えてくださるのですぐに不安はなくなりました。
自分の部署内だけでなく他部署の方々も優しく接してくれるので、この職場で働けて良かったと思います。

4.任せてもらう業務が少しずつ増えてきており、一通りの業務が出来るようになることが今の目標です。
できなかったことができるようになることで、次のことに挑戦する気力にもなります。

5.病理検査の業務の中でも重要な仕事の1つである細胞診断が出来るように、細胞検査士の資格取得を目指しています。

6.写真を撮ること

7.勉強会などに積極的に参加して一人前の検査技師になれるように頑張りたいと思います。よろしくお願いします。



1.和歌山県立医科大学附属病院
工藤　祥太

2.病理検査室

3.入職前は上手く仕事をこなしていけるのか不安でしたが、職場の先輩方や同期が優しく接して下さって、今ではその不安も消え、とても働きやすい環境で仕事をさせてもらっています。技師会については新型コロナウイルスの影響で今は制限されていますが、勉強会等に参加するのが楽しみです。

4.教えてもらったことができるようになったり、職場の先輩方に褒められたりしたときにモチベーションが上がります。

5.細胞検査士等の資格を取得したいと思っています。

6.趣味はゲームと休日にランニングをすることです。

7.普段は寡黙ですが、色んな方とお話するのが実は好きなので勉強会等で沢山の方と交流を深めたいと思っています。

和歌山臨床検査技師会　新人紹介 2020

①施設名　氏名　②現在担当している業務　③入職前と後の職場及び技師会の印象は
④やりがいやモチベーション　⑤今後目指している事　⑥休日の過ごし方　⑦自己PR

1.和歌山県立医科大学附属病院
坂本　紘太

2.細菌検査室

3.とても大きな病院ですので、ここでやっていけるのか漠然とした不安がありましたが、先輩方や同期に恵まれ、忙しいながらも充実した日々を過ごすことができています。
　技師会に関しましては、新型コロナウィルスの影響で勉強会等に出席することができておらず大変残念ですが、今後の活動を楽しみにしています。

4.できることが一つずつ増えていくことに、自分の成長を感じ、モチベーションにつながっていると思います。上手くいかないときもありますが、作業を効率よくすることができたときや、新しいことができるようになると喜びを感じます。

5.様々な作業や仕事を任せてもらえるように頑張っていきたいです。また、資格取得なども意欲的に取り組んでいきたいと考えています。

6.いまはなかなかできていませんが、友人とどこか遠くに行くことが好きです。家ではアニメをみたり、ゲームをしたりまったりしていることが多いです。

7.まだまだ未熟で至らない部分もあると思いますが、精一杯頑張っていきますので、ご指導のほどよろしくお願いいたします。

1.和歌山県立医科大学附属病院
山﨑　絵梨香

2.生理機能検査

3.和歌山県の基幹病院であり、とても大きな病院なので、始めは自分がやっていけるのか不安でしたが、職場の先輩方や同期など、周りの方々がとても親切にしてくださり、忙しさもありながら充実した毎日を送ることができています。
　技師会に関しましては、新型コロナウイルスの影響により今は活動が制限されていますが、今後の活動を楽しみにしています。

4.検査後に患者さんから、ありがとうと言っていただけた時にやりがいを感じます。

5.心臓超音波検査を始めたばかりなので、これからたくさん経験を積み、知識を深め勉強したいと思っています。

6.趣味は韓国ドラマを見ることと筋トレです。

7.まだまだ至らない点もあるかと思いますが、一生懸命頑張りますので宜しくお願いします。

和歌山臨床検査技師会　新人紹介

2020

①施設名　氏名　②現在担当している業務　③入職前と後の職場及び技師会の印象は
④やりがいやモチベーション　⑤今後目指している事　⑥休日の過ごし方　⑦自己PR

1.済生会有田病院
髙﨑　幸広

2.生化学、血液学、輸血、一般検査をローテーションで担当しています。

3.今まで技師の少ない職場が多かったので、色々な話や意見が聞けて新鮮です。

4.個人の病院で勤務していた事が多くやれる事も限られていたのですが、やっていなかった検査も覚えられるのでやりがいを感じています。

5.消化器領域の超音波検査士の資格を取得したいです。

6.読書や映画鑑賞などをして過ごしています。

7.健康だけが取り柄なのでコロナなどに感染せず、このまま働いていけたらと思っています。

1.海南医療センター
上岡　美夢

2.病理検査

病理検査に所属し半年経ち、切り出しや迅速など自分にとって難しいと思っていた業務もできるようになりました。この半年間は、血液や尿などの検体検査と生理検査に加え病理検査が始まり覚えることが多く大変でしたが憧れだった職業に務めることができたので毎日が楽しいです。

3.海南医療センター検査部に入職する前の印象は、病院見学の時みんな黙々と作業をしていたので少し緊張しました。しかし、入職すると見学の時と違い時間が空いた時は機械のメンテナンスや事務作業をしつつルーチン作業の相談や何気ない日常会話がありとても明るい検査室だと感じました。この１年間、技師会の印象はコロナにより様々な勉強会に参加できていないためオンラインでの勉強会があれば参加していきたいです。

4.また、2020年は就職してすぐに新型ウイルスが流行したことによりPCR検査や感染対策など貴重な経験ができたことでとてもやりがいのあった１年間でした。そして、これから先新たなウイルスが流行したときに今回の経験を活かし対策や検査に活用したいです。２年目は、１年目から多くの経験ができと事と病理検査に携われた

5.細胞診の資格取得に向け勉強を始めるという明確な目標ができたためこれから頑張ります。

6.しかしこのような大変な時期に姪が生まれ、休日は姪と遊ぶことが私の楽しみになりました。これから、姪に癒やされながら仕事に励みたいです。

7.私の趣味はご飯屋巡りでしたが、今のご時世に他府県へは行けませんしご飯屋巡りも厳しいのでできていません。

和歌山臨床検査技師会　新人紹介

2020

①施設名　氏名　②現在担当している業務　③入職前と後の職場及び技師会の印象は
④やりがいやモチベーション　⑤今後目指している事　⑥休日の過ごし方　⑦自己PR

1.南和歌山医療センター
外山　愛

2.現在担当している業務について現在は検体検査と細菌検査を担当しています。

3.入職前と入職後の職場及び技師会の印象職場は皆様が優しく丁寧に教えて下さるので、とても働きやすいです。技師会については、セミナーなどを開催していることを入職後に知り、コロナウイルスの影響が少なくなったら是非参加したいと思っています。

4.今はまだできることが少ないので、少しでも多くのことを吸収して、できることを増やしていきたいと思いながら日々頑張っています。

5.検体検査を中心にいろいろなことに携わり、後輩を指導していけるような技師になっていきたいと思っています。

6.休日の過ごし方　趣味など休日はふらっとでかけたり、友人と話をしたり、お家でまったりしたり、その日の気分に合わせて行動しています。

7.これからも頑張りますのでよろしくお願いします。

1.南和歌山医療センター
中津留　実夢

2.検体検査、生理機能検査を担当しています。

3. 職場の皆さんには優しく接していただいていてとても働きやすく感じています。 技師会については、コロナウイルスの影響で中止になってはいますがセミナーなどを開催していることを知りました。

4.少しでも多くのことを覚えたり、できるようになったりすることを目標に日々の仕事に取り組んでいます。

5.今はまだできないことの方が多いのでコツコツとできることを増やしつつ、他の検査にも携わっていけたらいいなと考えています。

6.休日は気分転換も兼ねて外出するようにしています。

7.どうぞよろしくお願いします。

1.くしもと町立病院
直井　七海

2.採血・生化・免疫・血液・生理検査とオンコール含めて検査室での一連の業務にはすべて携わっています。

3.想像以上に大変なことが待ち受けているのだろうと覚悟をしつつ、不安な気持ちでいっぱいでした。いざ勤務をするようになると、職場の上司、先輩方はその緊張を和らげてくださり、優しく時には厳しく指導していただきました。改めてこの仕事の大切さと、自分が目指していた仕事への意欲を促してくださったと感謝しています。

4.無事に検査を終えると、患者様から「ありがとう」という言葉をいただいたとき、胸が熱くなる気持ちとこの仕事へのやりがい、向上心が湧いてきます。

5.検査をするためには、患者様の協力が必要不可欠です。しかし、小さな子供やご年配の方は、不安を感じることが多いようです。少しでも安心して検査を受けていただくためには、ただ単に説明をするだけではなく、緊張を和らげるように笑顔でお話をする、そういう環境作りをすることが大切だと思います。

6.部屋の模様替えやウインドウショッピング、趣味である釣りなど、心身ともにリフレッシュするように心掛けています。

7.初めてのことばかりで、不安と緊張でいっぱいですが、一日でも早く臨床検査技師として一人前になれるよう、日々精進していきたいと思います。

和歌山臨床検査技師会　学術部紹介

学術部長　　栗林　伴有　　日本赤十字社和歌山医療センター

生理検査室に所属しています。普段は主にエコー検査やカテーテル検査に従事していて、好きなのは長くしているからかもしれませんが心電図の判読です。不整脈や虚血性の心電図で判読が難しいのもがあれば見せてくださいね。また学会等で見かければ気軽にお声かけください。趣味は釣りをしていて、今年は大物に出会いたいと期待を膨らませている52歳男性です。最後になりましたが、コロナ禍のため新人や会員の皆様にはご迷惑おかけしています。次年度は学術活動再開いたしますので、ご理解とご支援よろしくお願いいたします。

副学術部長　　杉野　翔太　　紀南病院

紀南病院で病理検査と細菌検査を担当しています。
かっこ良く言えば「二刀流」ですが、まだまだ半人前で、会員の皆様と勉強していきたいと思います。勉強会などでお会いする機会があれば気軽にお声かけ下さい。
プライベートでは2児の子育てに奮闘中です。コロナ禍で何かと希薄になりつつありますが、他施設の方との交流を大切にしていきたいですね

副学術部長　　吉井　輝子　　和歌山県立医科大学附属病院

昨年度から会計を担当させていただいておりますが、コロナ禍で学術活動が出来ておらず、ほとんど何もできていません。何かと不慣れですが、宜しくお願い致します。今年度は学術活動で皆様にお会いできることを楽しみにしております。
今は子育てと仕事で毎日が慌ただしく過ぎていますが、落ち着いたら何か習い事(スポーツ？ヨガ？生け花？？)をしたいなと思っています。今の楽しみは子供が寝た後、チョコとコーヒーを飲みながら録画したドラマを観る事です(笑)

副学術部長　竹中　美賀子　日本赤十字社和歌山医療センター

生理検査室に所属しており、主に超音波検査を担当しています。中でも乳房超音波検査に興味があり、乳癌（とりわけ若年性乳癌）の早期発見のため、研鑽を欠かさないようにしています。一緒に”和臨技”を盛り立てていきましょう。
よろしくお願い致します。

【各検査班】

☆生物化学検査班　班長　和田　哲　和歌山県立医科大学附属病院

生物化学分析班班長を拝しております和歌山医大の和田と申します。普段はその名の通り生化学検査や免疫学検査はもちろん感染症遺伝子検査、医療情報システム管理業務を行っています。検体検査に限らず、臨床検査は生化学検査や血液検査などの分野を問わず横断的に判読することが重要と考えおりますので、ぜひ皆さん検査結果をよく判読する習慣をつけていきましょう。(自分にも言い聞かせております)また、和歌山県技師会の特性として小さな技師会が挙げられるかと思います。所属組織をまたいだヨコの繋がりなどが重要になってくるかと思います。普段の業務などでも分からないこと、悩んでいることなど相談して下さい。できる限り協力させて頂きます。今後とも生物化学分析班はじめ学術部をどうぞよろしくお願い致します。

☆血液検査班　班長　小山　明日美　紀南病院

検体検査室で主に血液検査と免疫検査を担当しています。血液検査の中でも血液像や骨髄像の観察が好きで、異常細胞を発見したときが仕事で一番やりがいを感じる瞬間です。趣味は読書で、職場でも家でも目を酷使するせいか視力の低下が止まりません。
血液班では、血算、凝固、形態など各種検査の基礎から、血液疾患に関する臨床的な内容まで、幅広く勉強会を企画しています。ぜひご参加ください。

一般検査班　班長　　磯貝　好美　　和歌山県立医科大学附属病院

一般検査室で主に尿一般検査を担当しています。尿沈渣のため1日中ひたすら顕微鏡を覗いている日もあります。なので、常に運動不足と肩こりを感じています。そんな日常ですが、時々見た事無いものや判断し難いものが出てきます。そんな時は周りにいる先輩や後輩、違う部屋の人まで巻き込んで何だ何だと一騒動です。新人の皆さんも、最初は分からなくてできなくて当たり前。そんな時のための先輩です。きっと先輩も同じ様に経験してきたはずです。　コロナの収束も見えないままですが、新年度を迎え気分も新たに皆さんにお会いできる事を楽しみにしています。

病理細胞検査班　班長　　奥村　寿崇　日本赤十字社和歌山医療センター

病理診断科部に属しており、病理組織標本作製・病理細胞診・病理解剖の介助に従事しています。標本作製などで独自に工夫していることがあれば、教えて下さい。現在、病理細胞班は少人数で活動しています。班員になっていただける方は気軽にお声かけください。次年度は研修会を再開する予定ですので、多数の参加をお待ちしています。また、研修会で聴いてみたい内容があれば連絡下さい。

輸血検査班　班長　　冨坂　竜矢　　和歌山県立医科大学附属病院

輸血部で、日々輸血関連の検査や血液製剤の保管・管理業務を担当しています。また、医学生の輸血部研修も担当しています。新型コロナ感染症により、技師会の研修会、特に手を動かしての実技の研修会が開催できず、残念な思いでいます。輸血業務を専任で行う病院は少ないと思いますので、実技によって和歌山県全体の技術の底上げになればと考えています。家では２児のパパとして、散歩に行き、縄跳びや自転車乗りが徐々に出来るようになるのを楽しみにしています。遠くになかなか遊びに行けないので、最近は近場の公園を探すのが密かな楽しみになっています。今後ともより良い研修会等を考えていきますので、是非ご参加ください。よろしくお願いします。

微生物検査班　班長　　口広　智一　　公立那賀病院

微生物班長の公立那賀病院の口広と申します。微生物班研修会の内容は、グラム染色などの塗抹検査、培養同定、薬剤感受性試験などの細菌検査がメインですが、院内感染対策や抗菌薬適正使用など、ICTやASTなどのチーム医療関連の研修もあります。加えて、今後は新型コロナウイルスPCR等の遺伝子検査分野も入ってきており、日々の業務に役立つ知識や技術を学べる機会かと思いますので、是非ご参加ください。

生理検査班　班長　　松下　裕　　和歌山県立医科大学付属病院

生理検査室にいます。仕事は心電図や呼吸機能検査、超音波検査などです。最近の趣味はあまり外出も出来ないので家でラジオを聴くことです。スマホを使って聴けると先日教えてもらいました。いろいろと厳しいこの頃ですが、コロナ禍における「新しい日常」の中で、感染症対策に気をつけた上で、またお会いできるのを楽しみにしています。

総合管理班　班長　　大西　まゆみ　　有田市立病院

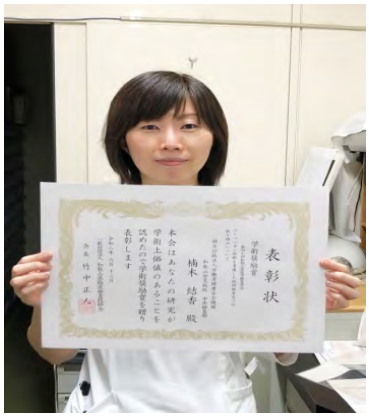
新人の方々は、まず、総合管理って何？と思われたのではないでしょうか。今まで、精度管理、接遇、採血業務など、時には他の班の領域を侵しながら勉強会を行ってきました。私自身は何でも屋だと思っています。こんな事が分からない、あんな事を知りたいなど連絡いただけると嬉しいです。参加して良かったと思ってもらえる勉強会に班員一同取り組んでいます。機会があれば覗いてください。また、班員さんも募集中ですのでよろしくお願いいたします。

和臨技表彰

学術奨励賞

コンパニオン診断を考慮した病理検査室での取り組みについて

この度、第40回和歌山県医学検査学会にて学術奨励賞を頂き、大変嬉しく思います。「コンパニオン診断を考慮した病理検査室での取り組みについて」発表させて頂きました。病理検査でも特に、コンパニオン診断の検体取り扱いはより厳格に規定されており、検査当直者や臨床側の協力も必須となります。また検査項目も年々増えており、全ての病理検体で今後検査を行う可能性があると言えます。そういった場面でも対応できるよう、当院の病理検査室での取り組みについてまとめさせて頂きました。施設により各々工夫されていると思われますが、少しでも参考になればと思います。今回の受賞を励みに、より診断に有用な検査が行えるよう、今後も精進していきたいと思います。ありがとうございました。

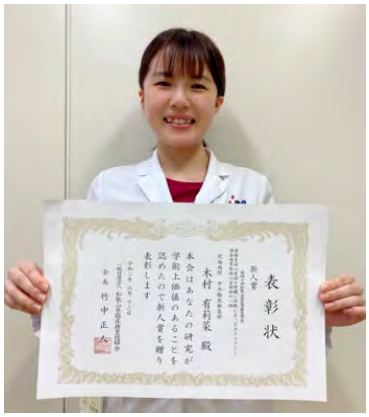


和歌山労災病院　　楠木　結香

新人賞

運動負荷心電図を契機に診断に至ったカテコラミン誘発性多形性心室頻拍の一例

第40回和歌山県医学検査学会 新人賞に選んでいただき、誠にありがとうございます。
このような賞を頂くことができたのも、上司・先輩方の熱心で丁寧なご指導のおかげであると感じています。キャリアも浅くまだまだ未熟なところが多い私ですが、今回の受賞を糧にして、今後も頑張っていきたいと思います。



紀南病院　　木村　有莉菜

令和2年度 保健衛生医事功労者知事感謝状授与式

田中　規仁　会長
おめでとうございます

R2年11月22日
アバローム紀の国にて仁坂知事より感謝状を授与されました。

令和２年度
保健衛生医事功労者知事感謝状を拝受して

この度、令和2年11月12日にホテルアバローム紀の国において、仁坂和歌山県知事から令和2年度保健衛生医事功労者知事感謝状を拝受いたしました。このような栄えある感謝状を頂き、これもひとえに和歌山県臨床検査技師会の会員皆様方の温かいご指導とご鞭撻の賜物と心よりお礼申し上げます。甚だ微力ではございますが、これからも臨床検査技師として和歌山県の医療保健衛生への貢献に全身全霊を捧げる覚悟であります。

さて、労災病院勤務と言う性質上、勤労者医療の充実や安全の向上、治療就労両立支援等といったことを念頭におきながら地域医療支援の一助を担ってまいりました。
また、和歌山県臨床検査技師会としても事務局運営や渉外関係の調整を中心とした、いわゆる縁の下の力持ち的な会の運営を担当してまいりました。振り返ってみても、技師として目立った活躍や会員としての晴れ舞台はございませんでしたが、この感謝状拝受を糧としてさらなる臨床検査技師の技術向上や地位向上にむけて尽力する所存でございます。

最後に、未熟な私をご指導いただきました諸先輩方、歴代会長はじめ先輩理事の方々、推薦書類を作成頂きました和臨技事務局の方々にこの誌面をお借りしまして深謝申し上げます。

今後とも変わらぬご指導とご鞭撻を頂けましたら幸いです。

本当にありがとうございました。

和歌山労災病院　　田中　規仁

令和2年度和歌山県医療従事功労者賞受賞

田原靖子副会長
受賞おめでとうございます。

令和2年度和歌山県医療従事功労者賞表彰式が令和3年2月8日県庁の正庁で執り行われ、田原副会長が受賞いたしました。

和歌山県医療従事功労者賞に寄せて

　この度、令和2年度和歌山県医療従事功労者賞をいただきました。このような、名誉のある賞をいただけましたのは、和歌山県臨床検査技師会の諸先輩方のご指導の賜物であり心より感謝しております。また技師会においては、若い技師の方々が向上心を持って、県内の会員に向けて知識や技術の伝達を行ってくれており、こうした活動を見て、私も頑張ろうと励まされていることから若い皆様のおかげでもあります。ありがとうございました。

　さて令和2年度を振り返ると、世界的な新型コロナウイルス蔓延により、これまで経験したことのない、不自由な生活を強いられました。技師会の学術研修会を開催することも出来ず、先の見えない一年であったように思います。こうした中で、見えてきたものは、これまでよりチーム医療が身近になり、今後進めていくべきタスクシフト、タスクシェアが以前よりも簡単に浸透していけるのではないかということです。

　新型コロナウイルス検査における検体採取では、数多くの臨床検査技師の方々が活躍され、検体採取から検体搬送やそれに関わる感染対策等様々な場面で医師や看護師と協働することができました。日臨技のタスクシフトのWeb研修ビデオを見ると、難しそうな手技もあり、少し不安になりますが、現にその業務を実施している人がいるのですから、やってみれば思ったよりうまくいくかもしれません、全ての施設で新しい技術が必要となるわけではないでしょうが、臨床検査技師として医療に関わる限りは、きちんと研修を受けて資格を得ておくことが必然です。その上で、各施設で医師、看護師とシェアできる業務を見極めて、医療に貢献することが『AIに負けない』臨床検査技師に繋がっていくのではないでしょうか。和歌山県臨床検査技師会会員の皆様には、相手を思いやり助け合って、自分より優れている人は見習い、自分と同じくらいだと思ったら少し先を目指し、自分のほうが良く出来ると思った時には、その能力を丁寧に伝達し、和歌山県全体の臨床検査のレベルを高めていってほしいと願っています。私もまだまだ未熟者ですので、しっかりと学んでいきたいと思います。

　今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

　ありがとうございました。

新宮市立医療センター　　田原　靖子

日本臨床検査技師連盟　和歌山県支部

　技師連盟は、臨床検査の発展と技師の為の政策を、政治の場に反映させるために組織された政治団体です。
　令和2年度、新しい組織が編成され心新たに頑張ろうとした矢先に、新型コロナの感染者が和歌山で見つかりました。2月の和歌山学会の後は、学術活動や行事ごともことごとく中止され、連盟の紹介も十分できないまま過ぎていきました。あれよあれよと社会も仕事も一変してしまいました。今年度全国では1945人2206口、和歌山県で78人81口の加入がありました。ご協力をありがとうございました。連盟の活動は本来は政治活動ですが、活動費が足りず会員加入促進が一番の課題になっています。会員数は組織力に直結します。さらなる結集をお願いします。
　コロナでPCR検査や抗原検査の感度特異度や検査数など話題になり臨床検査が知られることになりましたが、技師の発信力と地位向上にはつながっていません。社会に必要とされる人材になれるよう連帯して業務拡大にも取り組んでいきましょう。
　年度が変われば加入手続きが必要です。引き続きの加入をお願いします。和臨技会員391人、まだ連盟に入られていない方、ぜひ連盟にご支援をください。

お問い合わせ：**恵友病院　脇村 小津江**
kensa@keiyukai.com
TEL　073-483-1033

☣特集☣

各施設のCOVID-19感染予防対策

◆◆県内の3医療機関に聞きました◆◆

SARS-CoV-2と呼ばれるコロナウイルスは、中国の湖北省武漢市の武漢華南海鮮卸売市場で初めて同定されました。SARS-CoV-2は主として、咳やくしゃみで出た呼吸器飛沫あるいはドアノブなど手に触れるものを介して、インフルエンザウイルス等と同様の経路でヒト・ヒトの間で感染します。この質の悪いウイルスの感染拡大を防止すべく、各医療機関ではこの1年間様々な取り組みや予防策を講じてきました。今回は県内の3つの医療機関の取り組みについてご紹介させていただきます。紹介するにあたり、事前に下記質問に回答いただく形式でお願いしました。

- 施設の名称、所在地と規模
- 発熱外来の設置場所
- 外来患者への感染予防対策
- 面会制限について
- 臨床検査技師の感染予防対策
- PCR検体の採取者
- PCR検査・抗原検査・抗体検査実施の有無と対象患者
- 検査体制
- 職員の食事場所における感染予防対策
- 職員の就業制限に対する取り決め
- COVID対応を実施するにあたり、PPEの着脱訓練を実施したか。
  実施した場合は誰を対象に誰が指導したか。

各施設の取り組み内容は、2021年2月上旬現在のものです。
本会報が発刊される時期には同様の体制ではない可能性がありますことをご了承ください。

地域医療支援病院　新宮市立医療センター

所在地：和歌山県新宮市蜂伏18-7　　規　模：一般病床300床、2類感染病床4床

発熱外来の設置場所　ドライブスルー・院内診察室（地下、ドライブスルーに隣接する）

全　　体：出勤前の健康チェック、出勤時及び従事中のマスク着用等
生理部門：検査後のエコープローブや心電図装着後の電極、ベッド、枕等のアルコール清拭など
検体部門：検査実施前後の清拭、手袋必着、採血台のパーテーション設置など

外来患者への感染予防対策

外来受診時の新型コロナに関する問診への記入・受診前の検温のお願い・受診時の手指消毒マスク着用のお願い・待合の椅子の間隔を設けるなど

PCR検体の採取者：医師、看護師、患者本人

検査実施の有無　：PCR検査、抗原検査→実施中　抗体検査→未実施（院内実施を検討中）

対　象　患　者　：疑い患者、妊婦、術前、緊急入院、転院時等

検査体制

●等温核酸増幅法(NEAR)：365日24時間体制で実施
●RT－PCR法：火曜日を除く平日日勤帯の午後より実施（緊急呼び出し体制あり）

職員の食事場所における感染予防対策

パーテーション設置、会話の制限、各階の患者食事室の開放、空き病室の活用、時差昼食、十分な換気の実施など

面会制限と啓蒙方法

●面会制限について：原則面会禁止（やむを得ない場合を除く）
●啓蒙方法：館内掲示、館内放送、ホームページ、広報誌、新聞を用いた啓蒙など

COVID対応を実施するにあたり、PPEの着脱訓練を実施したか。
医師・看護師は随時行っている。検査技師は各自で感染対策委員会より配布された資料をもとに実施した。
新人向けには個別に指導も実施。

職員の就業制限に対する取り決め：一般社団法人　日本環境感染学会　ガイドラインに則る。

ひだか病院

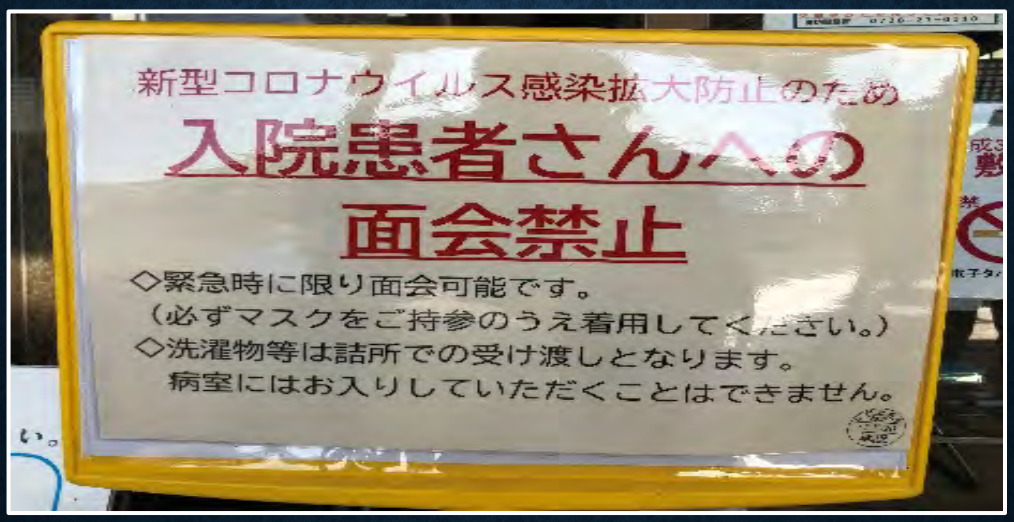
所在地：和歌山県御坊市薗116-2
【許可病床数】
一般病床　263床　・精神病床　100床・感染症病床　4床
【診療科目】
内科、外科、小児科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、泌尿器科、放射線科、 精神科、整形外科、脳神経外科、麻酔科、循環器内科、救急科、歯科口腔外科、形成外科、ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ科

発熱外来の設置場所：病院駐車場にプレハブ診察室を設置

外来患者への感染予防対策

●職員以外の方の院内出入口を限定している（平日：正面玄関のみ　休日：救急入口のみ）
●正面玄関・救急入口にサーモグラフィを設置し、発熱チェックしている

面会制限について



ホームページ掲載と院内掲示ポスターにて啓蒙

臨床検査技師の感染予防対策

【検体検査】

●全検査に対して感染防護具装着→手袋・サージカルマスク・ゴーグル(コロナ疑い検体や迅速検査実施時に装着)

●PCR検査→手袋(二重)・サージカルマスク・ゴーグル・ガウン・キャップ

【生理機能検査】

●全ての検査において患者毎に検査開始前・終了時に手指消毒を行う

≪肺機能検査≫

・肺機能検査用ディスポーザブルフィルターの使用(BFE・VFE　99%)
・ディスポーザブルマウスピースの使用
・検査毎に被検者の触れる部分や飛沫汚染箇所のアルコール消毒
・肺機能検査室の換気
・検査前に被検者に対して問診し、体調確認する
・臨床検査技師の感染防止対策(手袋・マスク・ゴーグル)

≪その他の生理機能検査≫

・検査時、手袋・サージカルマスク着用や患者毎に枕シートを交換するなど

【エコー検査】

●検査毎に環境クロスにて検査ベッド、枕、プローブを清拭

PCR検体の採取者：医師

検査実施の有無：PCR検査→実施、抗原検査→未実施、抗体検査→実施

対　象　患　者：PCR検査→疑い患者・妊婦・術前・処置前・自費診療、抗体検査→自費診療のみ

検査体制

●RT-PCR法：平日日勤帯のみ

●マルチプレックスPCR法：24時間体制

●NEAR法：24時間体制

職員の就業制限に対する取り決め

●COVID-19感染者と接触歴がある場合(高・中リスク)
→最終接触日から14日間の就業制限

●同居者がPCR検査検体を採取された場合
→PCR検査結果がでるまで就業制限を行う、もしくはPCR検査結果を考慮せず10日間の就業制限

職員の食事場所における感染予防対策

休憩時間・場所を分散させている

COVID対応を実施するにあたり、PPEの着脱訓練を実施したか。

●感染管理認定看護師が全職員対象に実施

日本赤十字社和歌山医療センター

所　在　地：和歌山市小松原通四丁目20番地
許可病床数：873床（稼働病床数723床）高度救命救急センター、第一種･第二種感染症指定医療機関等

発熱外来の設置場所

●感染症内科外来(年末年始は病院敷地内にプレハブを設置し、運用していたが現在は院内のみ)

外来患者への感染予防策

入館時はマスク着用必須であり、入院患者に対しては不織布を推奨している(持参できない場合は病院から配布している)。病院出入口の時間制限を行った上で、出入口3箇所に警備員を配置し、サーモグラフィーによる体温測定を実施している。各診療科･検査の受付にはビニールカーテンやアクリル板を取り付けており、患者に対しては新型コロナウイルスに関する問診も行っている。

面会制限について

面会禁止のポスターを病院出入口やエレベーターホールに掲示している。また病院ホームページにも掲載している(家族以外の荷物の受け渡しができないことや入館時のマスクの着用、手指消毒など。詳細は病院HP参照)

臨床検査技師の感染対策

検査室入口に、訪問する業者に向けて検査部への立ち入り制限について掲示している。
生理検査では常時マスク･アイシールドを着用して検査を行っている。また、暴露リスクが高い肺機能検査を出来る限り縮小するとともに、移動式HEPAフィルター付き空気清浄機を2台導入した。

PCR検体の採取者：鼻咽頭ぬぐい液→医師、唾液の採取補助→看護師
検査実施の有無　：PCR検査→実施、抗原検査→実施、抗体検査→未実施
対　象　患　者　：PCR検査・抗原検査→医師が必要と判断した場合
スクリーニング検査→妊婦、耳鼻科・歯科術前、渡航目的

検査体制

日勤帯はバイオラッドとビオメリュー・ジャパンのフィルムアレイ、2つの機器でPCR検査を行っている。PCR結果を緊急で要する場合(緊急入院や院内発症疑いなど)は、フィルムアレイを用いて24時間体制で実施し、それ以外の検体はバイオラッドで、基本的に1日1回(13時)実施している。なお、近日中にID NOW(アボット社)の導入を予定している(運用方法は検討中)。抗原検査は富士レビオの「エスプラインSARS-CoV-2」を使用し、24時間体制で実施している。

職員の食事における感染対策

可能な範囲で食事時間をずらし、間隔を空けてスクール形式で座っている。また、換気を十分に行うとともに、会話は控えている。

職員の就業制限に対する取り決め

- 症状がある場合
  所属長等に連絡し、原則自宅待機であるが、状態に応じて感染症科内科(時間外はER)を受診する。
  (自宅待機の場合は、解熱後2日を経過するまで、かつ発症から5日間までは出勤しない。ただし、感染症内科で検査結果等から、新型コロナウイルスの可能性が低いと判断されれば出勤は可能)
- 濃厚接触者の場合
  所属長等に連絡し、自宅待機。接触後10日目以降に感染症内科を受診しPCR検査を実施(自宅待機中に症状が出てきた場合は必要に応じて感染症内科(時間外はER)を受診する)。
- 濃厚接触疑い(例：同居家族が濃厚接触者となった場合など)
  所属長等に報告し、接触状況がはっきりするまで自宅待機。状況が分かり次第ICTの判断に従う。

COVID対応を実施するにあたり、PPE着脱訓練を実施したか。

- 検査部
  当センターは第一種・第二種感染症指定医療機関であるため、以前からPPEの着脱訓練は定期的に実施している。また、当直業務に抗酸菌塗抹鏡検が含まれるため、細菌検査担当者が当直業務のトレーニングとしてPPEの着脱訓練を実施している。
- 病院全体
  発熱患者に対応する医療従事者（感染症病床やER担当看護師・放射線技師・医師など）に対してICNが中心となり、定期的に訓練を実施している。

臨床検査技師に対するタスクシフティング業務啓発事業について

働き方改革実行計画(平成29年3月28日働き方改革実現会議決定)に基づき設置された医師の働き改革に関する検討会議において、平成30年2月「医師の働き改革に関する検討会」では医師の労働時間短縮に向けた緊急的な取り組みがまとめられ、タスク・シフティング(業務の移管)の業務については、医師以外の関係職種で可能な限り業務分担が図られるよう検討するとされ、現在まで7回の「医師の働き方改革を進めるためのタスク・シフト/シェアの推進に関する検討会」において検討がなされました。今後、厚生労働省内で報告書として取りまとめられ発出される方向です。

厚生労働省からの事業は終了しましたが、引き続き「臨床検査技師に対するタスク・シフティング業務啓発事業」として、視聴ビデオが日臨技HPの会員サイトに掲載されていますので、多くの会員の皆様のご視聴をお願いいたします。

受講期間：令和3年2月26日（金）～令和3年6月30日（水）

生涯教育研修制度：基礎20点

日臨技HPより抜粋

編集後記

早いものでもう年度末、3月もあっという間に過ぎようとしてます。 昨年度はコロナ禍で和臨技の事業が何一つ進まず、年度末にようやく動きはじめた感があります。今回の会報においても、もう少し早めに動けたのかなと少し反省しておりますが、今年度1冊でも発刊できたことを嬉しく思います。また発刊にあたり各施設の和臨技会員の皆様方には多大なご協力いただき有難う御座いました。
コロナ禍の中、この会報が皆様の良きコミュニケーションツールになることを願い、次回にはもっと良いものを皆さんにお届けできるよう頑張っていきますので、宜しくお願い致します。

一般社団法人 和歌山県臨床検査技師会　2020年度会報　75号

発行所　一般社団法人 和歌山県臨床検査技師会
〒640-8158　和歌山市十二番丁45
済生会和歌山病院　診療技術部　臨床検査科内
和歌山県臨床検査技師会　事務局　久保　光史
TEL 073-424-9805　FAX 073-424-9806
URL：http://www.waringi.jp.org/
E-mail　：　waringi@saiseikai-wakayama.jp
発行人　田中　規仁
編　集　谷本　智　　秋田　豊和